

人が輝くから企業が輝く、地域が輝く!

第20回 障害者問題全国交流会 in 滋賀



日時：2019年10月17日(木)・18日(金) 会場：琵琶湖ホテル



実行委員長
田井 勝実

第1回大会が36年前に滋賀県で開催され、以降歴史を積み重ねて記念すべき第20回大会を再び滋賀県で開催することになりました。“人を生かす経営の神髄”とも言われる障害者雇用について、全国から中小企業経営者が集まって学びを深めて熱い議論を交わしますので、開催県として大会を盛り上げられるよう皆さまのご参加をお願い致します。

参加費

22,000円

分科会・全体会・
懇親会・報告集代含む

1日目 分科会(13時~18時) 懇親会(18時30分~20時)

第1分科会(北海道同友会)

テーマ：『共に学び共に育つ職場づくり』
報告者：奥山 敏康氏(株式会社アイワード 代表取締役社長)
倒産寸前の会社から、今では道内で雇用・労働環境に関して数々の受賞をする企業になり、「労使見解」を柱に据えた経営実践について報告して頂きます。15名の障害者を雇用。

第2分科会(神奈川同友会)

テーマ：『ダイバーシティが生み出す宝物』
報告者：川田 俊介氏(有限会社川田製作所 取締役副社長)
人材不足が叫ばれる中で、障害者、高齢者、外国人など多様な人材を雇用される「ダイバーシティ経営」の実践を報告して頂きます。

第3分科会(愛知同友会)

テーマ：『1社1人、障害者と関わる運動を広げよう』
報告者①：杉浦 昭男氏(真和建装株式会社 取締役会長)
報告者②：浅井 順一郎氏(株式会社浅井製作所 代表取締役)
コーディネーター：馬場 慎一郎氏(データライン株式会社)
愛知同友会では、なぜ経営者団体がこの問題に取り組むのかを問いながら、「1社1人と関わる運動」に取り組んでこれ、4年間の実践と会員の変化を報告して頂きます。

第4分科会(滋賀同友会)

テーマ：『就労困難者の就労と定着の取り組み』
報告者①：青山 裕史氏(油藤商事株式会社 専務取締役)
報告者②：永岡 鉄平氏(株式会社フェアスタート 代表取締役社長)
コーディネーター：遠城 孝幸氏(NPO法人四つ葉のクローバー 代表補佐)
児童養護施設の卒業生をはじめ、様々な就労困難者が社会に出て働くためには“支え”が必要です。地域に根差す同友会ならではの取り組みや関係機関との連携を報告して頂きます。

第5分科会(栃木同友会)

テーマ：『多様な人が輝くために』
報告者①：古澤 正巳氏(株式会社 鹿沼自動車教習所)
報告者②：福田 由美氏(NPO法人 CCV)
過疎化と少子化に加えて若者が車離れする中、地域の学校やNPO法人と連携して発達障害の人たちが免許証を取得できるプランに取り組み実践を報告して頂きます。

見学分科会

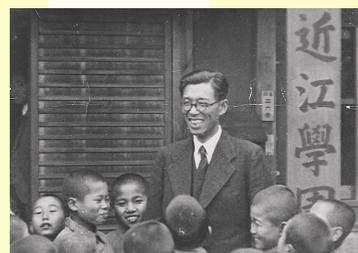
テーマ：『障害者雇用なんて無理!と思っ込んでるあなたへ』
訪問先：ピアライフ株式会社
報告者①：永井 茂一氏(ピアライフ株式会社 代表取締役)
報告者②：大川 葵(同 賃貸事業部担当社員)
広島障全交の第1分科会で報告された障害者雇用の実践について、会社見学、永井社長と社員さんから報告して頂きます。

2日目 全体会(9時~正午)

全体会 記念企画

戦後の滋賀県で戦災孤児や障害児の保護に活躍され、日本の障害者福祉の父と呼ばれる糸賀一雄氏が遺した『この子らを世の光に』にという言葉に込められた思想と実践について、2007年にNHKで放送されたドキュメンタリー映像と当時のプロデューサーの解説で学び、パネルディスカッションにて同友会が障害者問題に取り組む原点を振り返ります。

登壇者：牧野 望(株式会社NHKエデュケーション 特集文化部 部長プロデューサー)
比嘉 糸み子(中同協障害者問題委員会 委員長)
コーディネーター：高橋 信二(社会福祉法人 ひかり福祉会)



写真提供：公益財団法人糸賀一雄記念財団

主催：中小企業家同友会全国協議会

設営：滋賀県中小企業家同友会